

# 指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和6年度

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立上九沢身体障害者デイサービスセンター
指定管理者名	社会福祉法人県央福祉会
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年間）
施設設置条例	相模原市立身体障害者デイサービスセンター条例
施設の設置目的	在宅の身体障害者及びその介護を行う者に対し、通所による機能訓練、創作的活動、介護方法の指導等の各種のサービスを提供することによって、身体障害者の自立と社会参加を促進し、もって、身体障害者の福祉の増進に寄与する。（条例第2条） ※ 障害福祉サービス事業（生活介護）を実施。
施設概要	開館時間：午前8時30分から午後5時まで 休館日：日曜日、祝祭日及び12月29日から翌年の1月3日までの日 年間開所日数：292人 延床面積：721.44㎡ 主な施設：食堂、作業・日常訓練室、休憩室、健康管理室・相談室、浴室（一般、機械）、脱衣室、トイレ、厨房、事務室、湯沸室、倉庫、機械室
施設所管課	健康福祉局地域包括ケア推進部高齢・障害者福祉課

## 2 管理実績

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
利用者数合計（人）	5,639	5,027	5,342				
自立支援給付費（円）	114,846,940	107,126,240	118,652,288				
利用者負担金（円）	208,719	226,854	199,126				
収入総額（円）	120,668,340	116,359,332	123,700,950				
支出総額（円）	120,702,759	111,585,500	128,105,925				

## 3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	利用者数は昨年度と比較して増加しており、実績値が目標値を上回った。看護師等の有資格者を国の基準を超えて配置するなど、質の高い支援が継続できている点については評価できる。今後は引き続き質の高い支援を継続し、更なる通所者数の増加を図りたい。

### 指標1

指標名（単位）	開所日1日当りの平均通所者数 単位：人
指標式と指標の説明	施設を利用し、機能訓練、創作活動等のサービスの提供を受けることにより、身体障害者の福祉の増進が図られるため、1日当たりの平均通所者数（年間通所者数÷開所日数）を成果指標とする。

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（人）	17.5	17.5	17.5	17.5	17.5	17.5	17.5
実績値（人）	19.3	17.3	18.3				
達成度（%）	110.3%	98.9%	104.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>S</b>	利用者の平均障害支援区分は、5.4であり、重度の障害者に対応するため、毎日看護師を基準以上に配置している。地域ボランティアの受入件数も増加しており、地域との連携にも積極的に取り組んでいる。また、食事提供では個々の特性に応じた特別食の提供するなど、利用者の意向に沿った支援を行っている。

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
生活介護の業務	通年	○通所される利用者への日常生活上への活動支援 ・利用者の平均障害支援区分は、5.4 ・医療的ケア対応のため、看護師を常時配置 ○外出プログラム ・希望者に対し、施設近隣への買い物、ショッピングモールへの買い物など外出機会の確保。 ○季節に合わせたプログラムの実施 ・夏祭りやクリスマス会等を実施。創作活動や散歩など通常日課の範囲内・規模で実施。各曜日で月に1回程度。	◎
入浴サービス	通年	開所日に、入浴希望の利用者へのサービス提供。	○
食事の提供	通年	嚥下障がいなどの自力での食事が困難な利用者への支援。 個々の特性に応じた特別食の提供。	◎
送迎サービス	通年	行きと帰りのご自宅まで送迎サービスの実施。 必要に応じ看護師の添乗を実施。	○

#### 企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
なし			

#### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
なし			

## 5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	多くの利用者には一定程度の満足感を抱いていただいていると言えるが、昨年度と比較すると実績値及び達成度ともに減少しているため、利用者満足度調査の自由記述の改善意見等を基に、次年度以降は実績値を改善し、利用者満足度を高めてもらいたい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	施設の利用者を対象とした満足度調査 実施期間：令和6年11月25日～12月21日
目標値の基準	有効回答数中で「とても満足」「満足」「やや満足」と回答した人の割合の合計

項目 (単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値 (%)	94.1	94.7	95.3	90.5	90.5	90.5	90.5
実績値 (%)	90.2	92.9	91.6				
達成度 (%)	95.9%	98.1%	96.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
福祉オンブズマンの来訪	概ね月1回	相模原福祉オンブズマンが来所し、希望する利用者とは一人ずつ面談を行う。福祉オンブズマンは、利用者から聞いた意見を施設側に伝え、施設側は利用者の意見を支援等に反映している。

## 6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	<p>令和7年3月期の決算書に基づき団体の貸借対照表、事業活動内訳表及び資金収支計算書の分析、並びに各種の経営指標（収益性、安定性等）分析を行った結果、団体の経営状況について、現時点において特段の懸念はないものとする。</p> <p>令和7年3月期は、人件費等の負担増加により売上原価は大幅に増加したものの、障害福祉サービス等事業収益や保育事業収益を中心としたサービス活動収益の伸びがこれを上回り、結果として団体の収益性は改善している。</p> <p>また、貸借対照表上、主に設備資金に係る借入金が多額に計上されているため借入金比率は依然として高いものの、事業活動収支差額によって借入金の返済資金を賄えていること、また、手許資金も大きく流動比率も100%は超えていることを考慮すると、現時点では、安定性・継続性の面についても大きな懸念はないと考える。</p>

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
収入 (a)		120,668	116,359	123,701	
	自立支援給付費	96,868	87,189	98,054	
	利用者負担金	209	227	199	
	その他の収入	23,591	28,943	25,448	
支出 (b)		120,703	111,586	128,106	
	人件費	82,569	73,176	87,119	
	本社管理経費	3,288	3,882	4,149	
	その他の支出	34,846	34,528	36,838	
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)		-35	4,773	-4,405	
自主事業収入 (d)		0	0	0	
自主事業支出 (e)		0	0	0	
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)		0	0	0	
全体収支 [(c)+(f)]		-35	4,773	-4,405	
備考					
団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。				

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	施設所管課職員が、項目ごとに適正に実施しているかを確認する。
実施時期	令和7年2月27日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

## 8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	無
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	
その他取り組んでいること	

### 9 指定管理者の自己評価

令和6年度の利用実績が5342件、前年度と比較すると約300件の実績増となり、指定管理事業所として多くの方にご利用いただけていると思います。その内約66%が区分6と重度の障がいがある方にご利用いただいています。ご評価いただいている通り、医療行為のある方にも安心してご利用いただくために常勤換算で2名以上の看護師を配置しています。指定管理事業所として、重度の障がいがある方にも安心して地域生活が続けられるよう、引き続き体制を整えていきます。

利用満足度に関しては、入浴サービス、医療的サービスを中心に障がいのある方の地域生活を支える事を支援の中心としていますが、それ以外の外出等を含めたサービスも高いニーズがあります。それ以外の提供サービスを含め質の向上を図り、満足度が上がるよう体制を整えていきます。

### 10 所管課意見

・市内における身体障害者を対象とした生活介護事業所が少ない中、当該施設が担う役割を認識し、障害支援区分の高い方を積極的に受け入れ、支援体制の確保に寄与していると評価する。

・当該施設の課題として、施設の老朽化による修繕対応が多発していることが挙げられるので、今後も市及び指定管理者が連携して対応を行っていく必要があると感じているので、積極的な対応をお願いしたい。

・引き続き、利用者のニーズに応えられるよう、満足度調査の改善等に取り組んでいただきたい。

### 11 選考委員会意見

・本施設は、職員の離職率が低い。利用者職員が楽しく取り組めるノウハウが他施設に広まるとよい。

・ボランティアの増加や他法人との交流など人とのつながりを工夫している。引き続き、地域と連携して取り組みを進めてもらいたい。

・利用者の地域移行もサポートしており、感心している。プログラムの充実も図られている。職員が外部研修に積極的に参加しており、風通しのよい職場である。

### 総合評価（自動判定）

**A**

(70/100)

